

深刻な状況が続く中高年男性の自殺

2022年
(暫定値)
中高年(40-60代)男性の
自殺者数は約7300人
前年から500人以上の増加

毎日
約20人の中高年
男性が自殺で
亡くなっている計算

3月は…
さらに
中高年男性は…
例年、中高年男性
の自殺が増加する
傾向にある



悩みが連鎖し追い込まれていく

つらい悩みを抱え続けていると、周りに助けを求めづらい
特に中高年男性は、その傾向があります

この苦しみから
抜け出すには、
死ぬしかない…

周りの人の
声かけが重要

気になる人がいたらまずは声をかけてみましょう

なので

最近どう?

眠ってる?

まずは
一声



お父さん

パートナー

同僚

ご近所の
あの人

中高年男性の自殺が多いことを知っていますか?

～あなたの声かけで、救われる人がいるかもしれません～

©2023 JSCP

あなたもゲートキーパーになれます

ゲートキーパーとは、死にたいと考えるほど悩んでいる人に
気づき、声をかけられる人のことです

特別な資格は必要ありません



1人で背負わずに、必要に応じて相談機関等につないで下さい



生活上の具体的な悩みや
課題が見えてきたら、
相談窓口や専門家等に
つなぎましょう

厚生労働大臣指定法人・一般社団法人
いのち支える自杀対策推進センター
Japan Suicide Countermeasures Promotion Center (JSCP)

声のかけ方:「気持ち」ではなく「体調面」から聞いてみる

その後の
対応としては、

背中をさするような
気持ちで聴く

それは
苦しかったね…

いきなり悩みは話しづらいので

①体調面を聞く

(例) 最近、眠ってる?
食欲落ちてない?
または、

自分から先に
弱音を吐く

(例) 最近、○○で悩んで…
私、寝つきが悪くてさ…

②相手の気持ち
を聞く

(例) 気分はどう?
悩んでいることない?

何でもない、大丈夫…

と言わても…

③勇気を出して
もう一声!

(例) いつも様子が
違うから心配なんだ

ただ話を聴き、気持ちを受けとめながら、
ねぎらうだけで、悩んでいる人の気持ちも、
軽くなるかもしれません。